

下水道事業業務状況説明書類
(令和3年度上半期)

事業の概況

下水道事業の状況

●公共下水道の整備状況（R3.9.30現在）

区 分	令和3年3月末	令和3年9月末	令和3年度上半期増減
水洗化人口（区域内）	38,731人	38,654人	▲ 77人
水洗化率（区域内）	86.9%	86.9%	0.0%

※水洗化率は、水洗化人口を供用開始人口で除した数値。

●個別排水処理施設の整備状況（R3.9.30現在）

区 分	令和3年3月末	令和3年9月末	令和3年度上半期増減
設置等基数	95基	96基	1基

※設置等基数には、個別排水処理施設事業開始以前に利用者が設置し、事業開始後に市が受贈したものを含む

工事発注の状況（R3.4～R3.9）

【公共下水道事業】

予算：収益的支出 款：下水道事業費用 項：営業費用 目：管渠費

(単位：円)

工事名	契約日	契約額	契約先
下水道管路上舗装補修工事	2021/7/20	2,959,000	富士建設(株)

予算：資本的支出 款：資本的支出 項：建設改良費 目：管渠建設費

(単位：円)

工事名	契約日	契約額	契約先
汚水管渠改良工事その1	2021/4/19	4,466,000	(株)小笠原組
汚水管渠改良工事その2	2021/4/27	13,783,000	(株)リフィット
7072-3外汚水管渠新設工事	2021/5/26	4,081,000	(株)ケイダイ
汚水柵設置工事その1	2021/5/26	4,521,000	(株)小笠原組
富岸町外下水道管路上舗装復旧工事	2021/6/17	1,353,000	菱中建設(株)室蘭支店
7072-3外汚水管渠新設工事(第1回設計変更)	2021/6/30	638,000	(株)ケイダイ
汚水柵設置工事その2	2021/7/6	2,794,000	(株)小倉組
4133外雨水管渠新設工事	2021/7/6	36,839,000	北硫建設(株)
常盤町地区汚水管渠移転補償工事	2021/7/20	37,972,000	北硫建設(株)
7072-3外汚水管渠新設工事(第2回設計変更)	2021/8/2	220,000	(株)ケイダイ
汚水管渠改良工事その2(第1回設計変更)	2021/8/26	1,529,000	(株)リフィット
7192雨水管渠新設工事	2021/8/31	8,778,000	(株)佐々木組
汚水柵設置工事その3	2021/9/2	2,629,000	(株)北信建設

予算：資本的支出 款：資本的支出 項：建設改良費 目：処理場建設費

(単位：円)

工事名	契約日	契約額	契約先
若山浄化センター場内整備工事	2021/5/26	2,970,000	(有)オリエンタル産業
若山浄化センター場内整備工事(第1回契約変更)	2021/7/12	88,000	(有)オリエンタル産業

工事発注の状況（R3.4～R3.9）

【個別排水処理施設事業】

予算：資本的支出 款：資本的支出 項：建設改良費 目：個別排水処理整備費

(単位：円)

工事名	契約日	契約額	契約先
合併処理浄化槽設置工事その1	2021/6/24	2,695,000	(株)荒川設備

経理の状況

令和3年度 登別市下水道事業貸借対照表
(令和3年9月30日現在)

(単位：円)

資 産 の 部			負 債 の 部		
1 固 定 資 産			3 固 定 負 債		
(1) 有 形 固 定 資 産			(1) 企 業 債	15,026,216,341	
イ 土 地	887,448,041		イ 建 設 改 良 費 等 の 財 源 に 充 て る た め の 企 業 債		15,026,216,341
ロ 建 物	957,965,314		企 業 債 合 計		
減 価 償 却 累 計 額	<u>△ 273,482,314</u>	684,483,000	固 定 負 債 合 計		15,026,216,341
ハ 構 築 物	29,689,313,421		4 流 動 負 債		
減 価 償 却 累 計 額	<u>△ 5,663,154,280</u>	24,026,159,141	(1) 企 業 債	613,408,139	
ニ 機 械 及 び 装 置	2,667,129,415		イ 建 設 改 良 費 等 の 財 源 に 充 て る た め の 企 業 債		613,408,139
減 価 償 却 累 計 額	<u>△ 1,363,661,218</u>	1,303,468,197	企 業 債 合 計		0
ホ 車 両 運 搬 具	1,285,200		(2) 未 払 金		0
減 価 償 却 累 計 額	<u>△ 861,200</u>	424,000	(3) 引 当 金	0	
ヘ 工 具、器 具 及 び 備 品	15,550,386		イ 賞 与 引 当 金	0	
減 価 償 却 累 計 額	<u>△ 13,911,067</u>	1,639,319	ロ 法 定 福 利 金 引 当 金	0	
ト 建 設 仮 勘 定		52,562,992	(4) 預 り 金		7,781
有 形 固 定 資 産 合 計		26,956,184,690	(5) そ の 他 流 動 負 債		33,928,808
(2) 無 形 固 定 資 産			流 動 負 債 合 計		647,344,728
イ その他無形固定資産		1,656,000	5 繰 延 収 益		
無 形 固 定 資 産 合 計		1,656,000	(1) 長 期 前 受 益 金	12,340,952,412	
固 定 資 産 合 計		26,957,840,690	(2) 収 益 化 累 計 額	<u>△ 3,063,660,615</u>	
2 流 動 資 産			繰 延 収 益 合 計		9,277,291,797
(1) 現 金 ・ 預 金	323,468,246		負 債 合 計		24,950,852,866
(2) 未 収 金	112,849,530		資 本 の 部		
貸 倒 引 当 金	<u>△ 9,783,936</u>	103,065,594	6 資 本 金		1,150,640,328
(3) 前 払 金		11,662,400	7 剰 余 金		
(4) そ の 他 流 動 負 債		14,150,087	(1) 資 本 剰 余 金	340,627,285	
流 動 資 産 合 計		452,346,327	イ 補 本 剰 余 金 合 計		340,627,285
資 産 合 計		27,410,187,017	(2) 利 益 剰 余 金	155,544,513	
			イ 減 債 積 立 金	<u>812,522,025</u>	
			ロ 当 年 度 未 処 分 利 益 剰 余 金		968,066,538
			利 益 剰 余 金 合 計		
			剰 余 金 合 計		1,308,693,823
			資 本 合 計		2,459,334,151
			負 債 資 本 合 計		27,410,187,017

※償却累計額及び収益化累計額の計上にあたっては、それぞれ減価償却費、長期前受金戻入について、当初予算計上額のうち上半期相当分を計上

令和3年度 登別市下水道事業損益計算書
(令和3年4月1日から令和3年9月30日まで)

(単位：円)

1	営業収	益			
	(1) 使用	料	330,429,359		
	(2) 処	理	6,243,670		
	(3) 他会計負担	金	0		
	(4) その他営業収	益	80,100	336,753,129	
2	営業費	用			
	(1) 管渠	費	7,681,503		
	(2) 処	理	103,920,518		
	(3) 排水設備促進	費	150,010		
	(4) し尿投入施設運	転	352,500		
	(5) 個別排水処理施設	管	2,076,745		
	(6) 総	係	320,374		
	(7) 職員給与	費	17,884,204		
	(8) 減価償却	費	478,792,500		
	(9) 資産減耗	費	0		
	(10) その他営業費	用	0	611,178,354	
	営業	利			△ 274,425,225
3	営業外収	益			
	(1) 受取利息及び配	当	10		
	(2) 他会計補助	金	744,000,000		
	(3) 長期前受金戻	入	195,468,000		
	(4) その他営業外	収	5,477,277		
	(5) 雑	収	29,226	944,974,513	
4	営業外費	用			
	(1) 支払利息及び	諸	123,276,213		
	(2) 雑	支	0	123,276,213	821,698,300
	経常	利			547,273,075
5	特別	利			
	(1) 過年度損益修	正	0	0	
6	特別	損			
	(1) 固定資産売却	損	0		
	(2) 減	損	0		
	(3) 災害による	損	0		
	(4) 過年度損益修	正	0		
	(5) その他特別	損	0	0	0
	当年度純	利			547,273,075
	前年度繰越	利			158,374,494
	その他の未	処			106,874,456
	剰余金	変			動
	当年度未	処			812,522,025
	分	利			益
	剰余	金			

※減価償却費及び長期前受金戻入は当初予算計上額のうち上半期相当分を計上

令和3年度 登別市下水道事業（個別排水処理施設事業）損益計算書
 （令和3年4月1日から令和3年9月30日まで）

（単位：円）

1	営業収	益			
	(1) 使用	料	1,780,190		
	(2) 処	理	0		
	(3) 他会計負担	金	0		
	(4) その他営業収	益	0	1,780,190	
2	営業費	用			
	(1) 管	渠	0		
	(2) 処	理	0		
	(3) 排水設備促進	費	0		
	(4) し尿投入施設運	転	0		
	(5) 個別排水処理施設	管	2,076,745		
	(6) 総	係	0		
	(7) 職	員	0		
	(8) 減	価	2,415,000		
	(9) 資	産	0		
	(10) その他営業費	用	0	4,491,745	
	営業	利			△ 2,711,555
3	営業外	収			
	(1) 受取利息及び配	当	0		
	(2) 他会計補助	金	0		
	(3) 長期前受	金	893,500		
	(4) その他営業外	収	0		
	(5) 雑	収	0	893,500	
4	営業外	費			
	(1) 支	払	645,760		
	(2) 雑	支	0	645,760	247,740
	経	常			△ 2,463,815
5	特別	利			
	(1) 過年度損益	修	0	0	
6	特別	損			
	(1) 固	定	0		
	(2) 減	損	0		
	(3) 災	害	0		
	(4) 過	年	0		
	(5) そ	の	0	0	0
	当	年			△ 2,463,815
	前	年			△ 200,604
	そ	の			0
	剰	余			0
	当	年			△ 2,664,419

※減価償却費及び長期前受金戻入は当初予算計上額のうち上半期相当分を計上

そ の 他

前事業年度の決算の状況

【総括事項】

下水道事業は、公共下水道の供用開始から30年が経過し、今後、施設の更新時期を迎える一方、更なる人口減少や少子高齢化社会の進行により水洗化人口は減少すると予測され、引き続き経営状況を注視していく必要があります。

本年度においては、こうした状況を踏まえ、将来に亘って安定的に下水道サービスを提供するため、「下水道事業経営戦略」を見直したほか、施設の効率的な維持管理に資する施設整備事業を重点的に実施するため、「ストックマネジメント計画」による改築実施計画を策定するなど、経営の健全化に向けた取組を行いました。

また、下水道事業の公共的使命を果たすため、汚水の安定的処理やこれによる公共水域の保全、浸水防除など、汚水管渠の改築更新や雨水管渠の新設などを着実に実施しました。

イ 業務状況

年間有収水量は、公共下水道事業で前年度に比べ31,648 m³増加の3,214,647 m³、個別排水処理施設事業で前年度に比べ423 m³増加の17,092 m³となりました。

また、接続戸数（浄化槽設置基数）は、公共下水道事業で前年度に比べ116戸増加の21,105戸、個別排水処理施設事業で前年度に比べ7基増加の95基となりました。

ロ 建設改良事業

管渠建設費においては、常盤町地区の雨水浸水対策として、雨水管渠新設工事を実施したほか、汚水管渠については、既設管のたるみが著しい箇所での改良工事などを行いました。

また、処理場建設費においては、若山浄化センターの電話交換機及び構内電話機の更新を実施したほか、下水道施設全体をより計画的かつ効果的に管理するため、「ストックマネジメント計画」による改築実施計画を策定しました。

【決算の概要】

(収益的収支)

収入は、営業収益7億5,266万9,825円(うち使用料収入6億6,839万4,517円)、営業外収益10億4,396万282円、特別利益30,057円の合計17億9,666万164円となりました。

これに対し支出は、営業費用13億7,573万9,185円、営業外費用2億6,247万4,553円、特別損失7万1,932円の合計16億3,828万5,670円となり、収支差引による当期純利益は1億5,837万4,494円となりました。

(資本的収支)

収入は、企業債収入5億8,870万円、負担金及び分担金収入4,442万430円、補助金収入1億7,826万679円の合計8億1,138万1,109円となりました。

これに対し支出は、建設改良費2億6,886万6,517円、企業債償還金12億1,328万3,760円の合計14億8,215万277円となり、収支差引による不足額は、6億7,076万9,168円となりました。

この不足額につきましては、損益勘定留保資金などで補てんしました。